



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News



CONTENTS

介護福祉経営士

活動レポート Vol.14

- ①九州支部:
「介護経営講座 介護会計に強くなる講座I、II」
- ②関東支部:
「第2回 石井先生と語ろう♪ W改定カフェ」

2

- 合格者の声
- 介護福祉経営士
テキストのご案内

5

- 今月の「介護ビジョン」
- 今月の書籍紹介

6

INFORMATION

7

イベント掲示板

8

【介護福祉経営士 活動レポート Vol.14】

①九州支部:

「介護経営講座 介護会計に強くなる講座I、II」

経営戦略の立て方、
経営指標の読み解き方、
経営分析の視点と方法を
実践的に学ぶ

②関東支部:

「第2回 石井先生と語ろう♪ W改定カフェ」

介護報酬・診療報酬改定迫る！
ケアマネが介護・医療連携の
カギを握る



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 淳
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
もとみやビル3階

経営戦略の立て方、改善計画を策定するための経営指標の読み解き方、経営分析をする際の視点などについて実践的に学ぶ九州支部の介護経営講座。経営分析に関する指標やその指標を使った分析方法などについて実例を交えて解説した模様を、聴講した介護福祉経営士にレポートいただく。また、関東支部では介護報酬改定をテーマに研究会を開催した。



①九州支部：「介護経営講座 介護会計に強くなる講座Ⅰ、Ⅱ」

経営戦略の立て方、経営指標の読み解き方、経営分析の視点と方法を実践的に学ぶ

昔の“福祉”という考えだけでは、安定した継続運営はできない

介護保険法・制度が施行されてから間もなく18年が経つ。その間の介護報酬改定率は介護職員処遇改善加算を除くと6%以上も下がっている。そのような状況の中で、ケアの質の向上を目的に人材確保・育成をしながら介護保険事業所が安定した継続運営を行うには、昔の“福祉”という考えだけではできない。事業所内だけではなく、国や地域の状況を勘案し、中長期の経営的視点を考慮した運営が欠かせない。

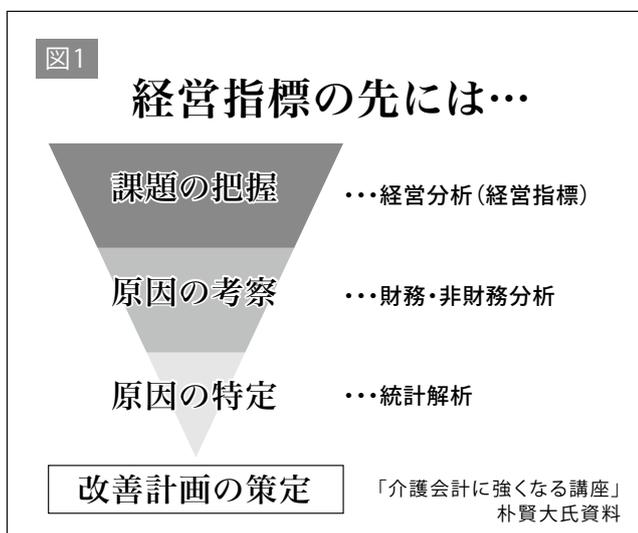
その運営の大切な一角を担う介護会計について、介護福祉経営士でもある、のびしろ会計事務所代表の朴賢大(ぼくよしは

る)氏が講師を務める「介護経営講座 介護会計に強くなる講座」が2018年1月20日と2月3日の2日間、福岡市内で開催された。この講座は「介護経営をする上での経営戦略の立て方を学ぶ。財務諸表の見方、改善計画を策定するための経営指標の読み解き方、経営分析をする際の視点などについて実践的に学ぶ」ことを目的としている。

1日目は、講師よりドラッグの言葉と重ねて「企業の目的は、利益が目的ではない。組織体の目的は“顧客の創造”と“企業の継続”である。利益は条件である。でも無視してはいけない」という考えのもと、①会計の目的、②貸借対照表／損益計算書の見方、③会計基準とは？ について基本的な内容を学んだ。

2回目は、①損益分岐点、②収益性と生産性の分析など、経営分析に関する指標やその指標を使った分析方法等について実例を交えて学んだ。朴氏は「求める数字の意味を知り活用する。そして事業所の体力を知り、強化するポイントを押さえて、損益計画、貸借計画を立てる。結果として財務健全性を図ることが大切」と強調した。実践で役立つマッピングツールや統計解析ツールの活用についても触れた。

介護事業所は、個々のスキルを向上させることにより、総合的なマンパワーの向上はできるが、利用者その人の生活を支えるための24時間交代勤務による最低人員は必須であり、その固定費としての人件費は削ることができない。この講座で、介護報酬、人件費、経費等の収入と支出だけではなく、資産も含めた経営の必要性を認識することができ、活用法を知ることができた。



研究会を終えて



社会医療法人 耕和会
介護老人保健施設サンヒルきよたけ
事務長・主任介護支援専門員

濱砂 泰典氏

私は以前、福祉・介護事業所の相談員と介護支援専門員をしていました。事務長になってからは職員の給与と一時金を増やすこと、設備等の維持により事業所が継続していくことを考えてきました。そのためには、利益を求める必要があります。同時に福祉という考えとしては、それで良いかというジレンマがありました。今までも様々な研修や人から話を伺い考え方は整理されてきましたが、方法論がわかりませんでした。

この講座は、テキストを基にスライドも併せて、仕組みだけでなく、会計の歴史や根拠を説明していただいたことで、より興味を持つことができ、かつ、分かりやすい内容でした。そして、効果的で発展的な経営・運営をするためには、①数字を把握し活かすこと、②他施設との比較を行い、経営指標等の数字だけでなく、ケアの質と利用者や職員の満足度・意欲の全てを含めての施設・事業所運営を行うことの重要性がよく理解できました。

講座には、介護福祉士から事務職へ異動した職員も一緒に受講しました。その者も講座内での理解だけでなく、復習のポイントも理解できたようです。十分に成果を得られたと感じています。今後も、すぐに実践できる研修会の開催を期待します。

②関東支部：「第2回 石井先生と語ろう♪ W改定カフェ」

介護報酬・診療報酬改定迫る！ ケアマネが介護・医療連携のカギを握る

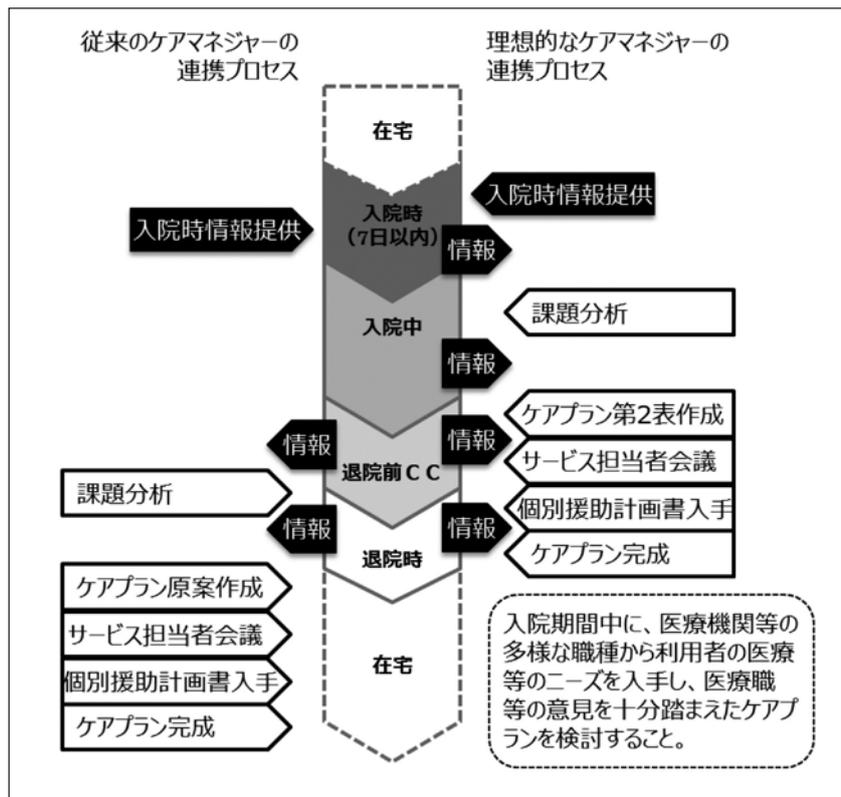
医療と介護の連携を進める報酬体系に

介護報酬・診療報酬改定の議論が最終盤を迎えた1月17日、日本介護福祉経営人材教育協会関東支部は東京都内で、日本医療経営実践協会関東支部、日本栄養経営実践協会関東支部と「石井先生と語ろう♪ W改定カフェ」を共催した。

多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェローの石井富美氏が講師を務めるこの“カフェ”は、介護報酬・診療報酬改定のポイントを学ぶとともに、介護福祉経営士をはじめとする経営人材が集まり、自由に意見を交わせるスタイルの勉強会となっている。

第2回となった今回のテーマは「医療介護の連携」。地域包括ケアシステムを実現させるための仕組みづくりという色が強い今回の改定において、医療機関と介護施設・事業所の連携がこれまで以上に重要なポイントと石井氏は指摘する。また、「診療報酬でこれまで『退院支援加算』だった項目が『入院支援加算』に名称が変更されたことは、入院直後から退院後まで切れ目のない支援を行う体制づくりが求められるということ。在宅や介護施設と医療機関の情報共有においてはケアマネジャーが重要なカギを握る」と話し、介護報酬においても医療機関との連携強化が求められていることに言及。ケアマネジャーが持つ利用者の生活に根ざした情報が、切れ目のない支援の重要なカギになると訴えた。

図2 ケアマネジャーの連携プロセス



「入退院時におけるケアマネジャーの医療機関等との連携・情報収集の手引き」より

また、参加者同士のディスカッションでは「自分が（厚生労働省の報酬改定に関する）パブリックコメントに応募するとしたら何を言いたいか」というテーマで意見交換がなされた。石井氏は「自分で『コメントを出す』という気持ちで資料を読み込むと頭の中にも入ってきやすいし、重要なポイントも理

解しやすいはず」と語り、単に資料に目を通すだけでなく、しっかりと読み込み、自分自身で理解することの重要性を指摘した。

今回の「W改定カフェ」は、3月28日に開催が予定されている。詳細・申し込みは協会ホームページを確認のこと。

関東支部：参加者の声

「病院に勤務しており、患者さんの退院支援について取り組んできましたが、これまでは医療の側面からしか見ていませんでした。今回の改定で連携の重要性を改めて理解でき、介護側の目線も持たなければならないことに気づかされました。ケアマネジャーの実務の話題から解説いただいたので具体的にイメージできましたし、自分自身の視野も広がりました」

「医療と介護の両面からのレクチャーが分りやすくよかったです。医療と介護をつなぐ役割として『ケアマネ』が重要であることが前回に引き続きよく理解できました。国としてケアマネジャーの育成などは考えられているのか、また情報の共有に当たってはICTインフラが前提となっていると思うのですが、補助金などインシヤルコストなど投資がとても気になります」



「介護福祉経営士」を通して 介護から見た医療の視点を得た

西村 一洋 ●にしむら・かずひろ

白山石川医療企業団 公立つぎ病院
介護福祉経営士2級

一体的運営により 地域包括ケアシステムの構築に尽力

白山石川医療企業団は、石川県白山市、野々市市、川北町の2市1町で構成された一部事務組合で、地方公営企業法の全部適用を受けた地方公共団体です。主に高度急性期、急性期を担う公立松任石川中央病院、急性期、回復期、維持期を担うケアミックス型の公立つぎ病院、また、白山ろくに診療所を3か所開設しており、機能分化、有病・病診連携による一体的運営により、構成団体における地域包括ケアシステムの構築に尽力しています。

私が勤務する公立つぎ病院においては「通所リハビリテーションセンター」の併設や「地域包括支援センター」業務の受託を行っており、介護事業に接することが多くなりました。

実践のための知識を得ることを目的に 「介護福祉経営士」を受験

そうしたなか、平成30年度に当病院にショートステイを併設することとなり、私が所属する総務課は、施設設備担当課、人事担当課として業務にあたることになりました。

これまであまり触れることのなかった介護用語や介護サービスの名称など根本的なことがわからず、介護分野に長けた他職種の職員との打ち合わせや、ショートステイの制度について調べる際に戸惑いを感じることも増えてきました。そこで、基礎的な知識を勉強する契機になればと思い、「介護福祉経営士」を受験することにしました。

受験勉強にあたっては、「覚えようと思った箇所は徹底的に覚える」ことを心がけ、結果的にテキストすべてに目を通せないことになっても、それはやむを得ないこと、合格が目的ではなく

実践のための知識を得ることが目的だと、敢えてそう考えることに。そして、焦らずじっくりと取り組むことにしました。具体的な勉強方法はノートを準備し記載すること。ノートに記載した内容に関連した事項が他のテキストに記載していれば、その内容を書き加え、見返したときにそのページを見ればテキストを横断的に理解し、復習できるように工夫しました。

受験後もテキストを見返し 日々の業務に役立てる

現在、ショートステイ併設に向けた取り組みは佳境に入っており、施設基準や介護報酬、実際の運用など、詳細にわたり検討を重ねているところですが、これまで雑然としていた事柄が少しずつ理解できるようになってきました。今でもテキストをめくり、職場で目にしたことがどうということなのか、改めて確認することもあります。現在の私は介護事業における土台部分の知識を、ようやくほんの少しばかり得たに過ぎないと思っています。

今、白山石川医療企業団、そして公立つぎ病院では、切れ目のない包括的なケアを実践するため介護事業に力を注いでいます。私自身、以前は医療の立場から介護事業を見ていましたが、「介護から見た医療」に視点を定めることができるようになったと思います。変遷や法制度から見れば、医療と介護とは別の視点があると思いますが、その両方の視点を持つことが、これからの地域包括ケアシステムの構築に必要なのだと思われます。そして、「介護福祉経営士」の受験を通して、そのような考えや視点を持つことができたと考えています。

まだまだこれから世の中が変わり、それに伴い制度が変わっていく医療・介護業界において、いかに先を見据えて行動できるのか。そう考えると今ようやくスタート地点に立てたのだらうと思います。

介護福祉経営士テキストのご案内

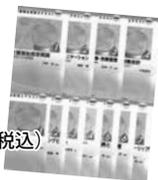
介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

いまなら「介護福祉経営士2級資格認定試験対策—合格サポートブック—」がもらえる!!

介護福祉経営士テキストのご案内

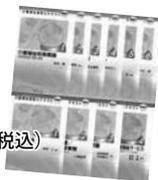
介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編
全11巻
セット価格:
25,710円(税込)



介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編
全10巻
セット価格:
23,660円(税込)



「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
- 予想問題を掲載
- 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。

※解説は(株)日本医療企画によるものです。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ
▶<http://www.jmp.co.jp/>

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

地域介護経営

地域特集

5人に1人が外国人 共生のまちづくりに挑む 群馬県・大泉町

群馬県の東南に位置する邑楽郡大泉町。県内では最も面積の狭い自治体であるが、その一方で、人口の外国人比率は県内1の18.11%にのぼる。その背景には、同町を始めとして県内に大手メーカーの製造工場が多く、工業の町として栄えてきたことや、1990年の出入国管理及び難民認定法(入管法)の一部改正により、多くの南米日系人が工場等に就労したことがあります。本特集では、いち早く外国人との共生に取り組む同町において、村山俊明町長が描く町のビジョンを聞くとともに、介護事業所が摸索している外国人との共生のあり方などを紹介します。



介護が変わる 地域が変わる **地域介護経営** 3月号

5人に1人が外国人
共生のまちづくりに挑む
群馬県・大泉町

原正彦
地方紙記者が斬る 医療・介護の今・未来
新潟日報、信濃毎日新聞、静岡新聞、
読売新聞静岡、山陽新聞、西日本新聞

2018年3月号
(2018年2月20日発売)

詳しくは

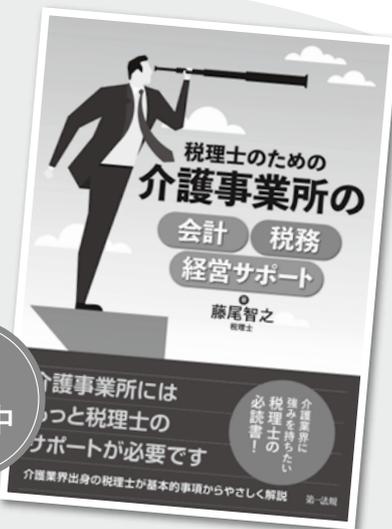
- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)

今月の書籍紹介

税理士・コンサルタントとして各種セミナー講師等を務める
介護福祉経営士が書籍を発行!

税理士のための 介護事業所の会計・税務・ 経営サポート

介護保険外事業や創業支援のアドバイスなど、
経営サポートの実践的な内容を掲載!



好評
発売中

元特別養護老人ホーム事務長の経験を活かし、現在は税理士・コンサルタントとして活躍する介護福祉経営士：藤尾智之氏が、介護事業所の経営を支えるための具体策を①会計、②税務、③経営サポートの3段階でわかりやすく解説した書籍を上梓。



なお藤尾氏には、本紙2017年3月31日号において、現場主義に基づく「離職防止策」についてのレポートを掲載していただいた。介護現場を知り尽くした執筆者による、介護業界に強みを打ちたい税理士の必読書となるであろう。

藤尾智之 著

■ 体裁: A5判/312ページ

■ ISBN: 978-4-474-05871-2

■ 発刊年月日: 2017年12月15日

■ 発行: 第一法規株式会社

目次

第1章 介護業界の基礎知識

介護とは何?介護施設とは何?という問いに回答できますか? 他

第2章 介護業界の動向

介護保険制度の財源 他

第3章 会計上の留意点

とつきにくい介護保険事業の会計 他

第4章 税務上の留意点

法人税 (1)未収金、未払金の確定 他

第5章 経営サポート

会計事務所の将来は不安って本当? 他

[参考資料]

知っておきたい
介護用語集

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

「介護福祉経営士」資格認定試験 試験が終わったらその場ですぐ！ 合否を判定して証明書を発行します！

「介護福祉経営士」資格認定試験は、2018(平成30)年1月より、全面的にCBT方式に移行しました。CBT方式の採用で、試験会場は全国約200会場に増え、自分の予定に合った日程、時間に受験することができるようになります。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすく役に立つ教育システムとして進化します。

詳細は、本会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にて随時更新します。

【CBT方式による4つのメリット】

- 1) 自分のペースで無理なく学習。自信がついたら受験を申し込み。
→ 推薦図書に『介護福祉経営士テキスト』(全21巻、発行:日本医療企画)があります。
- 2) 自分の予定に合った日程、時間にチャレンジできます。
→ 従来の試験日年3回(1級は年1回)から、年末年始を除き毎日受験可能です(試験会場によって異なります)。
- 3) 試験会場はご希望の会場を選べます。
→ 従来の全7~8会場から、全国約200会場に大幅に増えます。
- 4) 試験が終わったらその場ですぐに合否をスピード判定。合格すれば証明書が発行されます。

CBT方式とは……

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日*)受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

北海道支部

“惑星直列”観察ツアー

2018年度には介護報酬・診療報酬の同時改定や医療費適正化計画などが控えており、“惑星直列”と呼ばれている。多くの情報が行き交うなか、勉強会を通じて毎月動向を観察し、重要事項を共有する。

- 日時：2017年10月27日(金)、11月24日(金)、12月22日(金)、2018年1月26日(金)、2月23日(金)、3月23日(金) 各回18:30～20:00
- 講師：神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士)
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員(各回)1,000円、一般(各回)1,500円※資料代、税込
- 定員：30名
- 共催：日本介護福祉経営人材教育協会北海道支部
日本医療経営実践協会北海道支部
日本栄養経営実践協会北海道支部

お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 北海道支部
(株式会社日本医療企画 北海道支社 内)
TEL.011-223-5125

関西支部

医療経営士・介護福祉経営士 合同研究会 経営人材としての総合力を高める 石井ゼミ

「わかる」を「できる」にする4つのメソッドで“一歩先行く”経営士を目指す、全4回のゼミ。研究会終了後には、懇親会も予定している。

- 日時：2018年2月17日(土)、3月10日(土)、4月21日(土)、5月19日(土) 各回14:00～17:00
- 内容：2月17日(土) 経営企画部門の役割と求められるスキル
3月10日(土) データの戦略的活用
4月21日(土) 社会保障政策の読み方、活かし方
5月19日(土) 広報戦略とマーケティング
- 講師：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
- 会場：上田公認会計士事務所セミナールーム
(大阪府大阪市中央区道修町1-7-10 扶桑道修町ビル2F)
- 受講料：協会会員(全4回)10,000円(各回)3,000円
一般(全4回)15,000円(各回)4,000円
※税込 ※終了後、懇親会を予定(自由参加、会費4,000円)
- 定員：35名

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 関西支部
TEL.06-7660-1761

関東支部

石井先生と語ろう♪ W改定カフェ —施設系サービス(介護医療院、特養、老健)のゆくえ—

2018年度介護報酬・診療報酬同時改定の内容が明らかになった。廃止が決まっている介護療養病床の移行先として新たに設けられる介護医療院をはじめ、施設系サービスに対する評価について学ぶとともに、今後の方向性を考える。

- 日時：2018年3月28日(水) 19:00～20:30
終了後、名刺交換等の時間あり
- 講師：石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
- 会場：日本医療企画もとみやセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地もとみやビル3階)
- 受講料：協会会員1,000円、一般3,000円 ※税込
- 定員：30名
- 後援：株式会社日本医療企画

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 関東支社
TEL.03-3256-2885

日本医療企画

2018年度 目前に迫る 医療・介護W改定対策セミナー

「在宅移行で医療・介護事業所の進むべき道を考える」をテーマに講演し、同時改定の重要ポイントを解説。その他、事例紹介等も行う。

- 日時：2018年3月10日(土) 13:30～17:00
- 演者：金丸隆文氏
(山下医科器械株式会社ソリューション事業推進部事業開発部部長)
- 会場：静岡駅ビル「パルシェ」(静岡県静岡市葵区黒金町49番地)
- 参加費：無料
- 定員：40名 ※病院、診療所、介護事業所(開設予定者・土地活用を含む)
- 共催：パナホーム株式会社
パナソニック株式会社

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 関東支社
TEL.03-3256-2885

日本医療企画

『最新医療経営Phase3』創刊400号特別フォーラム 東北医療の明日を考える

このたび創刊400号を迎える、わが国初の医療経営情報誌『最新医療経営Phase3(フェイズ・スリー)』の特別フォーラムが開催。行政担当官や先進的な取り組みを進める病院の経営者が登壇し、地域医療の現状と政策の進捗・方向性、医療機関が担うべき役割とそのための経営のあり方などについて考察する。

- 日時：2018年3月10日(土) 10:00～16:30
- 内容：・基調講演「地域医療政策の展望」
佐藤敏信氏(久留米大学特任教授、元厚生労働省健康局長、元保険局医療課長、医系技官)
- ・特別講演「診療・介護報酬改定の展望」
湯原淳平氏(グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン、社会福祉法人こうほうえん経営企画)
- ・シンポジウム「地域医療を担う病院の今後の戦略と連携」
佐藤俊男氏(地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構構想)
- 加藤章信氏(盛岡市立病院院長)
- 島田薫氏(医療法人双山会森岳温泉病院理事長・院長)
- 新藤哲氏(医療法人ならの杜理事長)
- 会場：TKPガーデンシティ仙台13階(13A)(宮城県仙台市青葉区中央1-3-1)
- 参加費：協会会員、定期購読者5,000円、一般8,000円、
『最新医療経営フェイズスリー』定期購読バック17,000円
※税込
※定期購読者、『最新医療経営フェイズスリー』定期購読バックについてはお問い合わせください
- 定員：150名
- 後援：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 東北支社
TEL.022-281-8536

株式会社ウエルビー

2018年同時改定は何をもたらすか ～地域包括ケアと事業の未来を探る～

社会保障審議会介護給付費分科会委員・全国老人福祉施設協議会理事である瀬戸雅嗣氏を迎え、2018年の介護報酬・診療報酬同時改定のオモテとウラを語り尽くす。「再編必至の医療・介護の制度と事業」「インセンティブが通所系サービスにもたらすもの」「かかりつけ医と介護事業者の連携のポイント」など、充実した内容となっている。

- 日時：2018年3月22日(木) 13:40～16:40
- 講師：瀬戸雅嗣氏
(公益社団法人全国老人福祉施設協議会理事・統括監事、
北海道老人福祉施設協議会会長、社会福祉法人栄和会理事、
特別養護老人ホーム厚別栄和荘総合施設長)
- 青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役)
- 会場：日本医療企画もとみやセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地もとみやビル3階)
- 参加費：ウエルビー顧問先4,500円、一般9,720円 他 ※税込
- 定員：40名 ※医療機関・介護事業の経営者、幹部、それらに準ずる方

お問い合わせ

株式会社ウエルビー
TEL.03-5428-5785

